

1 研究主題

「豊かな心と健やかな体を育む教育の充実」
～自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実～
(4カ年継続研究)

2 研究推進の概要

- (1) 学校経営方針・グランドデザインの交流（5月）
 - ・昨年度までも実施しているが、新年度バージョンに更新。
 - ・クラウド上での閲覧を可能とする。
- (2) 第73回全日中研究協議会北海道（札幌）大会（10月20・21日）
 - ・5名がオンライン参加。（内4名が分科会グループ協議司会）
 - ・大会参加報告による交流、研修。
 - ・次年度の全日中九州（大分）大会での提言に向けて、有意義な参加となる。
- (3) 実践事例交流会
 - ・「生徒指導」にかかわって視点を絞り、全校長がレポートを提出するよう依頼。（10月）
 - ・実践事例交流会実施要項提案。（12月）
 - ・1月10日に各校のレポートを活用し、実践事例交流会を実施。
 - ・令和6年度道中研究大会十勝・帯広大会の提言、第3分科会「豊かな心と健やかな体を育む教育の充実」に迫る交流会となる。
- (4) 全日中研究協議会九州（大分）大会提言準備
 - ・全日中第7分科会「多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成」での提言に向けて、アンケートの実施・集計、研究要旨の作成に取り組んだ。
 - ・道中研修部との連携も密にできている。

3 研究の成果と課題

（○成果 ●課題）

- 函館市中学校長会全会員の共通理解のもと、今年度も足並みを揃えた研究推進ができた。
- 少人数ながら研修部会を効率的に開催し、協力体制を維持することができた。
- グランドデザインを資料に各校長の学校経営方針を学び合い、自校の経営に生かすことができた。
- 令和5、6年度全日本中学校長会研究大会提言ならびに道中研究大会提言に向け、準備を進めることができた。
- 全日中研究協議会北海道（札幌）大会に参加し、次年度九州（大分）大会での提言の参考とすることができた。
- 提言準備に力を注ぐことで、研究主題に迫るための年間を通した研修機会が少なかった。
- 研究主題に迫りながら、函館市中学校長会として取り組むべき重点を明確にしていきたい。

1 研究主題

「豊かな心と健やかな体を育む教育の充実」

～自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実～
(4カ年継続研究)

2 研究主題設定の趣旨

急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国において、子どもたち一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが必要である。一方では、青少年の規範意識の低下や人間関係形成力の低下が懸念され、社会的な問題ともなっている。

函館市中学校長会は、学校の実態及び生徒の心身の発達の段階や特性を十分考慮し、今後ますます複雑で多様化する未来社会を生き抜くために、自己実現を図るための自己指導能力を育てるべく、研究主題を『豊かな心と健やかな体を育む教育の充実～自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実』と設定し、組織的且つ実践的な研究を通して、校長の職能向上と学校経営の充実・発展に資する研修を推進する。

3 研究内容

- (1) 自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育む学校経営
 - ① 不登校やいじめ問題及び命を最優先する指導への組織的な対応の在り方
 - ② 家庭や地域社会及び関係機関、専門家等との連携・協力を密にした生徒指導の推進
- (2) 多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成（令和5年度全日中提言）

4 研究推進計画

北海道中学校長会研究主題『新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育』の解明に向け、函館市中学校長会が所属する第3分科会研究主題「豊かな心と健やかな体を育む教育の充実」に対応させ、令和2年度から4年間（令和4年度は除く）の継続研究とした。

また、令和5年度全日中第7分科会提言地区として、「多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成」に関する研究を同時に推進する。

- (1) 月1回の定例校長研修会での話し合い・情報交流・研修を軸に、年間計画に沿った研究を進める。
- (2) 事前に研修部での情報共有を行い研究推進する。
- (3) 全会員が「実践事例レポート」を作成し、1月に研究成果の発表交流を行う。
- (4) 年度末に、研究の成果を「校長会誌」に収録する。
- (5) 令和5、6年度全日本中学校長会研究大会提言ならびに道中研究大会提言に向け、道中研究主題の課題解明のために全会員一丸となって共同研究を計画的に推進する。

5 研究組織

- ・函館市中学校長会研修部を中心に、校長会員19名全員での共同研究として実施する。